

平成 22 年 7 月 29 日

各 位

会社名 株式会社グローバルダイニング
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
 (コード番号 7625 東証第二部)
 問合せ先 取締役最高財務責任者 添田 裕一郎
 兼経営管理本部長
 T E L : 03-5469-3223

**特別損失の計上等に伴う第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正並びに
 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ**

平成 22 年 2 月 15 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想について修正いたしますのでお知らせいたします。

また、下記のとおり特別損失を計上すること等により、当第 2 四半期連結累計期間連結業績予想を修正するとともに、平成 22 年 12 月期通期連結業績予想及び期末配当予想についても修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正
 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株あたり 当期純利益 |
|---|-------|------|------|-------|-----------------|
| 前回予想 (A) | 7,007 | 102 | 79 | 25 | 2 円 49 銭 |
| 今回修正 (B) | 6,898 | 173 | 212 | 693 | 69 円 07 銭 |
| 増減額 (B - A) | 109 | 175 | 291 | 718 | |
| 増減率 (%) | 1.6 | | | | |
| (参考) 前期実績 (平成 21 年 12 月期 第 2 四半期累計期間) | 7,433 | 116 | 244 | 141 | 15 円 38 銭 |

(金額の単位：百万円)

【修正の理由】

営業利益につきましては、国内外それぞれの拠点において売上高が低調に推移し当初予算を下回ったこと、国内において営業施策として実施しました値下げやbuffetの影響等により材料費及び労務費が予想を上回ったこと、また海外子会社の業績不振等により予想額より 175 百万円の下振れを見込んでおります。

経常利益につきましては、上記の 175 百万円の下振れ要因と、以下「2. 為替差損の発生について」に記載のとおり、急激な円高による為替差損の計上などにより予想額より 291 百万円下振れしております。

当期純利益につきましては、以下「3. 特別損失の計上について」に記載のとおり、マカオ子会社の事業譲渡、及び国内店舗の閉鎖に伴う特別損失として 256 百万円計上したこ

と、また以下「4．繰延税金資産の取崩しについて」に記載のとおり、当期の業績を鑑み、繰延税金資産の一部取崩しを行ったことにより、予想額より718百万円下振れしております。

2．為替差損の発生について

急激な円高に伴う為替相場の変動により、想定為替レートである1香港ドル11.88円、1USドル91.00円に対し、想定を上回る円高へと移行したため、当社の連結子会社であるグローバルダイニング、インク・オブカリフォルニアおよびグローバルダイニングマカオリミテッドにおいて、親会社からの円貨借入金にかかる為替差損として約37百万円計上しました。

3．特別損失の計上について

平成22年5月27日付『国内店舗の閉鎖に関するお知らせ』にて発表していましたが、国内店舗閉鎖に係る固定資産の減損処理の実施ならびに閉店に伴う諸経費として約62百万円を特別損失として計上しました。

また、平成22年6月9日付『子会社の事業譲渡並びに解散及び清算』にて発表していましたが、事業譲渡に伴う事業整理損として約184百万円を特別損失として計上しました。

また、当社デザート販売部門に関連する包材について、適正在庫レベルの見直しと調整を行った結果、棚卸資産評価損として約10百万円を特別損失として計上しました。

4．繰延税金資産の取崩しについて

当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性について慎重な検討を行った結果、繰延税金資産約221百万円を取崩すこととしました。

5．平成22年12月期通期連結業績予想の修正 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株あたり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|------|------|-------|----------------|
| 前回予想(A) | 14,416 | 195 | 151 | 51 | 5円08銭 |
| 今回修正(B) | 13,814 | 199 | 249 | 748 | 74円45銭 |
| 増減額(B-A) | 602 | 394 | 400 | 799 | |
| 増減率(%) | 4.2 | | | | |
| (参考)前期実績 (平成21年12月期) | 15,097 | 107 | 194 | 508 | 52円98銭 |

(金額の単位：百万円)

【修正の理由】

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間における業績予想の修正に加え、第3四半期以降の店舗の売上および売上原価率の計画や販売管理費等を見直した結果、前回予想より売上高は602百万円減少、営業利益は394百万円減少、経常利益は400百万円減少、当期純利益は799百万円減少の見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

6. 期末配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

| 基準日 | 1株あたり配当金 | | | | |
|----------------------|----------|-------|-------|----|----|
| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 期末 | 年間 |
| 前回予想 (平成22年4月30日) | | 0円 | | 5円 | 5円 |
| 今回修正予想 | | | | 0円 | 0円 |
| 当期実績 | | 0円 | | | |
| 前期実績 (平成21年12月期) | | 0円 | | 0円 | 0円 |

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を最重要と認識し、利益の配分につきましては、内部留保を充実することにより財務体質の強化を図りつつ、安定配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、上記に記載してきましたとおり、当期の業績が当初予想を大幅に下回る見込みとなることから、平成22年12月期末の期末配当予想につきましては、期末配当5円としておりましたが、上記の通期業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ながら期末配当を0円に修正することとさせていただきます。株主の皆様におかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上